

第76期
株主通信

2015年4月1日



2016年3月31日



AsunaroAoki

青木あすなる建設

証券コード：1865



収益基盤の強化と事業領域の拡大 「改革・スピード・ベクトル」

役職員全員が環境の変化に果敢に挑戦し、
目標達成のため気持ちを一つにし邁進します。
その為に「ものづくりの原点への回帰」をはかり、
「パーフェクトクオリティ」を追求します。

代表取締役社長 上野 康信

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの「2016年 熊本地震」により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当期の当社グループの連結業績は、3期連続の増収増益を達成し、受注高1,586億円、売上高1,393億円、営業利益59億円、経常利益59億円と過去最高の数字を残すことができました。

これもひとえに、株主の皆様をはじめ、当社にかかわる多くのステークホルダーの方々のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

このような業績を背景に、株主の皆様への当期の配当金は、前期の1株当たり15円から3円増配し、18円とさせていただきました。

来期の計画につきましては、引き続き受注環境が堅調に推移していくことが期待されるものの、建設需要の拡大にともなう労働力不足や労務単価の上昇

〈連結業績ハイライト〉



懸念など、予断を許さない経営環境が想定されます。このような中で売上高は1,460億円（前期比4.8%増）、営業利益63億円（前期比7.5%増）、経常利益62億円（前期比5.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益40億円（前期比3.7%増）と、4期連続の増収増益を見込んでおり、この数値を上回るよう生産部門、営業部門、管理部門が一体となって収益力の強化に取り組んでまいります。また、配当金につきましては、当期の配当を継続して1株当たり18円を予想しております。

さて、昨年末に「既成杭の施工管理データ改ざん」問題が噴出しましたが、このような事象は「良いものを造ろう！」という気概に満ち、有効なコミュニケーションが構築されている現場においては起こるはずはありません。私たちは建設を通じて「良いものを造り続ける」という原点に回帰し、社会資本整備

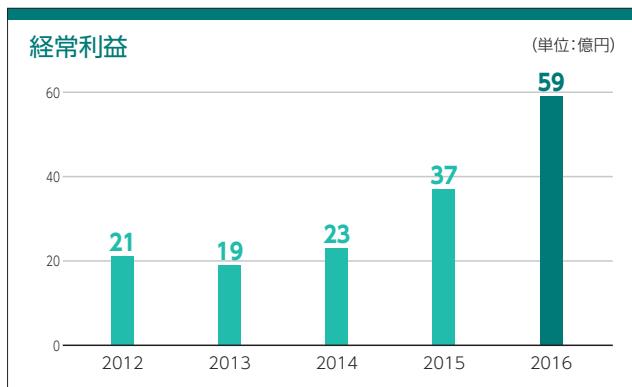
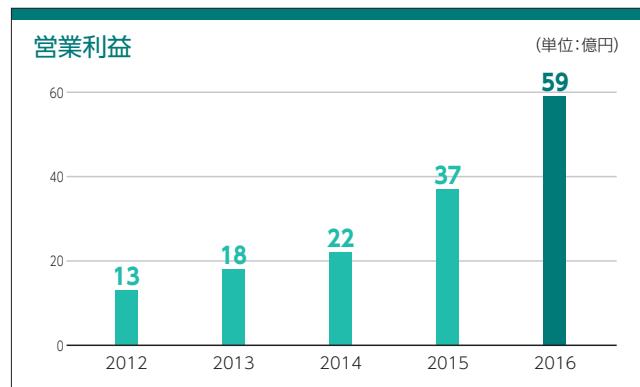
を担うものとしての矜持を再確認してまいります。

一方、今後東京オリンピック・パラリンピックを挟んだこの10年こそが、建設業界、そして当社の命運を決するときであり、そのために果敢にイノベーションの推進をはかるときだと考えています。

具体的な施策として、営業部門の再編強化、変革する入札制度に機動的に対応するための体制整備、インフラリニューアル技術の研究から実用化へ、さらに脱請負を視野に入れた新規事業にもチャレンジし、事業領域の拡大をはかってまいります。

当社グループは「改革・スピード・ベクトル」をキーワードに「ものづくりの原点への回帰」をはかり、「パーフェクトクオリティ」を追求してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



不動産事業

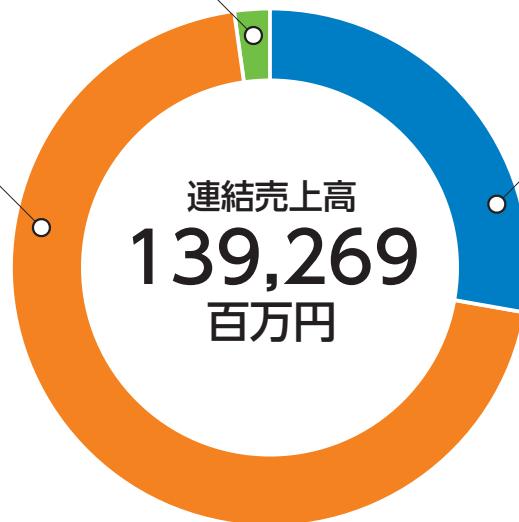
2%

土木事業

70%

建築事業

28%



建築事業

売上高 39,233百万円

建築事業の当期売上高は、3期連続の増収となる392億円となり、完成工事総利益率も10.1%と改善が進みました。

来期は庁舎や工場などの大型の手持ち工事が進捗していくことから、来期の売上高は4期連続の増収を見込んでいます。官庁では新規省庁からの受注拡大、民間では、工場・倉庫・店舗等非住宅分野の案件の受注に注力し、業績拡大を目指します。また、制震ブレースや折返しブレースなどの独自工法を生かした工事実績を伸長させていきます。



諏訪永山団地耐震補強工事



伊万里有田共立病院新築工事

土木事業

売上高 **97,168**百万円

土木事業の当期売上高は、4期連続の増収となる972億円となり、完成工事総利益率も10.5%と改善が進みました。

当期受注した大型工事は工期も長いため、来期の売上高を大きく押し上げることはないものの、全体として順調な進捗が予想されることから、5期連続の増収を見込んでいます。

当社グループの土木事業の連結売上高は単体の2.5倍となっており、港湾、法面保護、地盤改良、道路舗装、埋蔵文化財発掘調査など多岐にわたる事業会社群がそれぞれの分野で事業を拡大し、グループ力を発揮してまいります。



多摩東山戸建住宅地開発事業



平良港(漲水地区)岸壁(-7.5m)(改良)
(耐震)外1件築造工事(第2次)

不動産事業

売上高 **2,867**百万円

不動産事業は前期比約85%増の29億円となり、これは企画から設計施工、アフターサービス、管理までの「自社製造直売一貫性」によるアビダス事業の売上が順調に推移してきたものです。

今後も当社が長年培ってきた施工品質、アフターサービス体制をこれまで以上に確かなものとして、信頼できる顧客満足度の高いマンションをユーザーに提供し、売上、利益に貢献してまいります。

(アビダス事業は当期までに5棟を完売、現在2棟が販売中、3棟が企画設計中)

アビダス情報

★人気の東急田園都市線に“アビダスタマプラーザ”堂々誕生
～神奈川県初、マンション向けエネファーム全戸採用・ファミリータイプ61邸～
5月28日(土)より第一期先着申込受付を開始しました。



アビダスタマプラーザマンション新築工事

当社の主な完成工事



工事名：浜見平団地(建替)第2期第3住宅建設工事
所在地：神奈川県茅ヶ崎市



撮影：吉明地 賢一

工事名：陸前高田市震災復興事業
所在地：岩手県陸前高田市



工事名：園田中学校東棟改築工事
所在地：兵庫県尼崎市



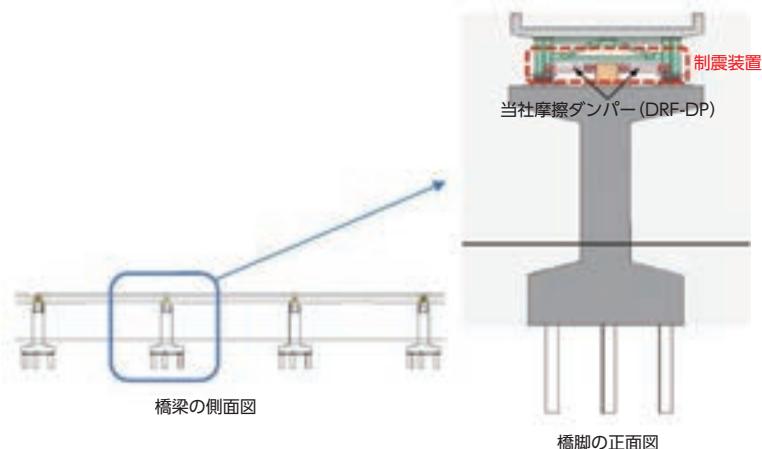
工事名：久米南メガソーラーパネル工事
所在地：岡山県久米郡久米南町

首都高速道路株式会社との共同研究

当社は『既設橋梁の耐震性向上技術に関する研究』と題して2013年11月より首都高速道路株式会社との共同研究に取り組んでまいりました。

今回の共同研究で開発した『橋梁用ダイス・ロッド式摩擦ダンパー (DRF-DP)』を橋軸直角方向に設置し、地震波を1方向および2方向から同時に加振した振動台実験を行い40%程度に低減された制震効果が確認できました。(国立研究開発法人土木研究所にて実施)

橋梁の耐震対策として摩擦ダンパーが非常に有効であると証明され、今後の利用が期待されています。



阪神高速道路株式会社との共同研究



当社と非破壊検査株式会社は、2016年4月より阪神高速道路株式会社および阪神高速道路技術株式会社と壁面走行ロボット（以下ロボット）を用いた共同研究を開始しました。

これはロボットに既存の調査点検アタッチメントや補修補強装置を搭載し、阪神高速道路の構造物において信頼性の高い、安価な調査・診断・補修・補強システムの開発を目指すものです。

今後ロボットの改良、調査・診断ツールの開発、補修・補強ツールの開発を実施し、大規模修繕工事や大規模更新工事のツールとして役立てていく予定です。

■ 会社概要

2016年6月16日現在

商号	青木あすなる建設株式会社 (Asunaro Aoki Construction Co.,Ltd.)	役員	代表取締役会長	石田 優	取締役	市木 良次
本社	東京都港区芝4丁目8番2号		代表取締役社長	上野 康信	取締役	妹尾 泰輔
設立	昭和25年9月25日		代表取締役	吉武 宣彦	取締役	梅田 明彦
資本金	50億円		取締役	江村 秀穂		
上場証券取引所	東京証券取引所		取締役	今井 宏	常勤監査役	齋川 貞夫
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人		取締役	橋本 富巨	監査役	櫛田 隆治
従業員数	1,665名 (グループ全体)		取締役	高松 孝之	監査役	朝田 純一
			取締役	朴木 義雄	監査役	関 房雄
			取締役	小川 完二		

グループ会社

会社名	主な事業内容	本社所在地	代表取締役
みらい建設工業株式会社	総合建設業	東京都港区	五関 淳
東興ジオテック株式会社	法面保護工事、地盤改良工事、爆砕工事、保温・耐火工事	東京都港区	川瀬 勝久
青木マリーン株式会社	海上埋立工事、海上工事、港湾工事、陸上土工工事	神戸市東灘区	西村 生久
あすなる道路株式会社	道路工事、舗装工事	札幌市中央区	岡村 秀豊
株式会社エムズ	建築リノベーション工事	東京都中央区	小川 弘
新潟みらい建設株式会社	舗装工事、一般土工工事	新潟県南魚沼郡	浅賀 美夫
株式会社島田組	埋蔵文化財発掘調査、土工工事	大阪府八尾市	岩立 二郎
株式会社アクセス	埋蔵文化財発掘調査、土工工事	大阪府八尾市	利川 昇

株主優待制度の変更のお知らせ

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された、500株（5単元）以上ご所有の株主様に優待品の米5kgを贈呈させていただいておりますが、2016年3月31日時点で、2,000株（20単元）以上を5年以上の長期に亘り継続保有されている株主様については、10kgとさせていただきますこととなりました。【お届け日】10月下旬を予定



南魚沼産コシヒカリ

<お願い>

優待品のお届けは、株主名簿に記載の住所にお送りいたしますので、住所変更があった場合には、速やかに住所変更手続きをお願いいたします。

特別口座の株主名簿管理人の変更のお知らせ

2015年12月1日付で、特別口座管理機関を三井住友信託銀行株式会社からみずほ信託銀行株式会社に変更いたしました。特別口座に管理されている株式につきましては、株式を市場で取引することができないなど、ご不便をきたすことがございますので、特別口座から一般口座への振替えのお手続きをお願いいたします。お手続きの詳細は、みずほ信託銀行株式会社(0120-288-324)にてご確認ください。

※表紙：当社が保有する水中ブルドーザーD155Wをモデルにした絵本が2015年12月に発売されました。
作者：こもりまこと 書籍名：「のっぽのスイプル155」 発行：(株)偕成社



青木あすなる建設

AsunaroAoki



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

